

自転車新文化に関する認知度調査の結果について

1 調査目的

令和5年5月に策定した「第2次愛媛県自転車新文化推進計画」（平成31年3月「第1次計画」策定）に定める各種施策に対する県民の需要を把握し、反映させることで、更なる総合的・戦略的な施策展開を図るため。

2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

3 調査期間

令和7年7月31日（木）～8月12日（火）

4 回答者数

400人（18～79歳の県内在住者）

5 概要

【「自転車新文化」の認知度】

- ・「知っている（12.3%）」「内容は知らないが、聞いたことがある（22.8%）」となり、県民の35.1%が「自転車新文化」について認知している結果であった。
- ・一方、「知らない（64.9%）」となっており、引き続き自転車新文化の推進に取り組んでいく必要がある。

【「自転車新文化」の更なる普及・拡大のため、今後、県はどのようなことに力を入れていくべきか】

- ・「自転車利用者が安全・快適に通行できる自転車通行空間の整備（52.5%）」、「交通ルールの遵守やマナー向上による自転車の安全利用の普及・啓発（49.0%）」、「自転車通学・通勤の促進による二酸化炭素排出削減等の環境問題への対応（28.5%）」、「サイクリストの受入環境・おもてなし態勢の整備（24.3%）」、「女性、高齢者、子ども、障がい者などの幅広い層への自転車利用の普及・拡大（20.8%）」、「国内外へのプロモーション活動等による交流人口の拡大（12.3%）」、「自転車競技の振興や全国規模の各種大会等の誘致（9.8%）」となり、自転車通行空間の整備や自転車安全利用の普及・拡大といった自転車の安全利用に関する割合が高い結果となった。